貸付申込書記入例の説明

(一般・特別・教育・災害・医療・結婚・葬祭貸付け)

記入例	説 明
① (申込金額)	申込金額は ⑮・⑯ のいずれか高い方の金額を限度として10万円単位、端数切り捨て
②・③ (申込金額の内訳)	貸付金の返済は、毎月償還の外、申込金額が100万円以上の場合はボーナス併用償還も選択できる。(ボーナスのみの償還は不可) この場合、ボーナス償還分については①の 1/2 以内で50万円を単位
④・⑤ (希望する償還回数)	④は② (毎月償還) の希望する償還回数、⑤は③ (ボーナス償還) の希望する償還回数を④の 1/6 以内で設定
⑥ (毎月償還額)	毎月償還の賦金率表から希望する④の償還回数に該当する賦金率を求め、②の償還金額に乗じて算出 (端数四捨五入)
⑦ (ボーナス償還額)	ボーナス償還の賦金率表から希望する⑤の償還回数に該当する賦金率を求め、③の償還金額に乗じて算出 (端数四捨五入) なお、貸付けを受けた月により1回目のボーナス償還までに発生する経過利息が異なるため、貸付けを受ける月の欄に照らし賦金率を求めること
⑧ (給料月額)	現に発令されている給料 (教職調整額及び給料の調整額を含み、給料カット後の額)
⑪ (給料月額の10分の3)	共済組合で借り受けている全ての貸付けの毎月償還合計額が、給料月額⑧の 3/10 以内となるよう償還回数で調整 $(⑳ - ㉑) + ⑥ \leq ⑪$
⑫ (給料月額の10分の6)	共済組合で借り受けている全ての貸付のボーナス償還合計額が、給料月額⑧の 6/10 以内 $(㉓ - ㉔) + ⑦ \leq ⑫$
⑭ (給与支給機関)	県費職員は島根県総務事務センター、市町村費職員は市町村名を記入 その他の組合員は各自の給与支給機関名を記入
⑰ (受取金融機関)	組合員名義の口座を記載 (給付金等受領口座以外の口座を記載するときは、通帳の写しを添付すること)
⑱ (団体信用生命保険) ※教育貸付けのみ	団体信用生命保険に加入 (適用) するか否かを、所属所から入手したパンフレットを参考に選択し○を付す。(これは任意加入の保険です。) 加入する場合は、所属所に備え付けの申込書を併せて提出